

ひといき

【発行】掛川市在宅介護者の会 会長 平岩正至

【事務局】掛川市杉谷南 1-1-30 TEL28-8546 (中部ふくしあ内)

みなさんに やさしさのひと言！



介護に焦らないで…“てくてく てくてく”

参加者
39人

介護教室を開催しました ~2月6日~

認知症のお薬 ~認知症の人を支えるため、私たちができること~

今年度2回目となる「介護教室」を開催しました。

講師には、一般社団法人小笠袋井薬剤師会であり、(株)健康第一調剤薬局 ヘルシー薬局の栗田敏也氏と、グループホーム「こもれび」ホーム長の神尾厚子氏をお迎えし、講話いただきました。

認知症の初期兆候や症状をわかりやすく丁寧に教えていただきました。また、認知症の人との関わり方やグループホームで生活する利用者様の様子も知ることができました。自分自身の予防としても学びの多い介護教室でした。



【参加者アンケートより】 ・認知症にならないように努力したいと思います。
・介護が必要になる前に知識としておぼえておく事だと思いました。

* 支部交流会を開催しました *

掛川支部交流会



3月29日(金) 18人参加
総合福祉センター

日本リバース静岡院ブレインの整体師の石川茂樹氏をお招きしました。内容は、「めまいと耳鳴りのセルフケア」について、講話と実技のご指導をいただきました。

講話では参加者の皆さんとやりとりをしながらわかりやすく説明をしていただきました。実技のときには参加者の皆さんの席を廻って実践してくださいました。

講話終了後には、近況報告をしました。



3月8日(金) 16人参加
畑ヶ谷集会所



大東支部交流会

掛川支部と同じく日本リバース静岡院ブレインの整体師の石川茂樹氏をお招きしました。内容は、「めまいと耳鳴りのセルフケア」について、講話と実技のご指導をいただきました。

実技では腰痛や花粉症の効果のあるツボを教えてください、とても勉強になり、「早速やってみよう」という方もいらっしゃいました。

講話の後はおしゃべりをしながらお弁当を食べ、充実した時間を過ごすことができました。



大須賀支部交流会

3月15日(金) 8人参加
大須賀市民交流センター

杏林堂薬局 浜岡店 薬剤師の加藤朝日氏をお招きしました。内容は「医薬品とサプリメント」について講話をいただきました。

医薬品とサプリメントの違いや注意点を教えてくださいました。また、認知症の予防についても学びました。今から実践できる予防方法がたくさんありました。

講座終了後は、会食と懇談をして賑やかで楽しい時間となりました。





うちのほとけさん

掛川支部 平岩 正至

私は、物事は理解するものとしてきたので、信じることで成る信仰は難しい。それでも勉めて仏事を習い、お寺さんとの付き合いもさせて貰ってきた。そこでよく耳にしたのは、「あみださまは誰でも皆んなを浄土に導いて下さる（ほとけになる）」とのことである。

平成二十八年は夏目漱石の没後百年であった。TVは記念番組がある。ドラマがあるとの予告を連日頻繁に流していた。それで「漱石といえば誰でも知っている。しかし、漱石当人は皆に知られていることも、今、記念番組があることも知らない。何も判らない」と思った。このことは、TVの番組探しをすることでどこかでも分かる美空ひばりも同じであり、名を知られない人々も同じである。よって不遜にも浄土に導かれるということは、何も判らなくなることで理解した。

その後、山口百恵はどうかと思った。しかし、目にすることがないだけで、先に挙げた人たちと違って生きているのだから論外であった。

またその後、認知症の人はどうかと思った。百恵よりも確かに目の前に生きているが知らない判っていないものも確かだからである。例えば挨拶は「今日は」だけでなく、「暖かくなりましたね。お元氣そうですね」などと二の句を付けて並み以上であり、新聞を見て折込チラシに買物の印をつけもする。しかしTVも新聞もフウーンと合槌を打ちながら見ても気にとどめることなく透明である。諸事、判っていないと見受けられる。この状態をどう理解するか……。

識者は「人間の生存を司るのは、たましいであり、これをあらわす言葉には魂と魄があつて、魂は人間の生存を司る精神的なものを、魄は肉体的なものをあらわす。人が亡くなると魄は土に帰り墓に祀られ魂は浄土に還る。浄土をあらわしたのが家庭の仏壇であり、寺の本堂である」と云う。(二〇一八版 真宗の生活)。

すなわち、人を生かしている魂と魄は亡くなった時に別行動をする。別行動をするのであれば、同時に別行動を始めなくても良いだろう。魄はそのまま現世に居て、魂は浄土に往ってほとけさんになることもありえよう。さらに、魂の行先の浄土は一つでもないことから、魂の所在は自在であろう。自在であるから戻ってくることもありえよう。事実「母(とうに没)とさつきまで話して一緒に来た。今、どこに居る？」などと何度か聞いています。

こうして、その時々、ほとけさんになるのだと理解した。そうすれば、接し方の原則「驚かせない 急がせない プライドを傷つけない」(広報、かけがわ 二〇一八年二月号) など容易である。

とは云うものの、ほとけさんだっけと心してほとけ顔をする時もあり、こっちはほとけになったものだと思う。

平成31年度

掛川市在宅介護者の会総会・講演会のお知らせ

掛川市在宅介護者の会の総会・講演会を開催します。

年に1回の総会となりますので、皆さん、お誘いあわせの上是非、ご参加ください。

☆ 講演会は、会員以外の方も参加できます。

お知り合いの方等をお誘いいただければ幸いです。

◆と き 5月13日(月)

◆会 場 徳育保健センター 徳育ホール

◆日 程 13:30～ 総会
14:10～ 講演会

【演 題】「健康でいるために
～かかりつけ医と中東遠総合医療
センターの受診方法～」(仮)

【講 師】 中東遠総合医療センター 職員

◆対 象 高齢者を介護している家族、または近隣の援助者など

◆持ち物 ☆会員のみ 1,000円(年会費)

◆送迎バス

出欠連絡の際、バス利用の有無と乗車場所をお知らせください。

市役所大須賀支所 12:00 → 市役所大東支所 12:15 →
北運動場 12:00 → 徳育保健センター着 12:55

※自家用車でお越しの方は、徳育保健センター駐車場にお願いします。

◆出欠連絡締切 各支部連絡員さんへ 4月25日(木)迄

◆問い合わせ先 掛川市社会福祉協議会 中部ふくしあ(担当:後藤)

電話28-8546 FAX28-8547

ちよつとつばやき広場から

～ 声をお寄せください ～

●「ちよつとつばやき広場」として、みなさんからの声を掲載するコーナーを開設しています。ちよつとだれかに聞いてほしいことなど、どんなつばやきでもOK!事務局までお寄せください。

〒436-0030 掛川市杉谷南1-1-30

中部ふくしあ 社会福祉協議会

TEL28-8546

FAX28-8547

●編集後記● 少しずつ暖かくなり、花粉症がピークを迎えています。皆さん、花粉症は大丈夫でしょうか。私はマスクで予防をしています。一年は早いもので年度末を迎えました。今年度は担当が年度途中に変わり、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。担当が不慣れで足りない点も多くあり、皆さんに助けられました。本当にありがとうございます。来年度も皆さんが日々介護をする中での悩みが少しでも解決できるような研修会やほっと一息できるおしゃべり会を実施していきたいと思います。(事務局:後藤柚季)